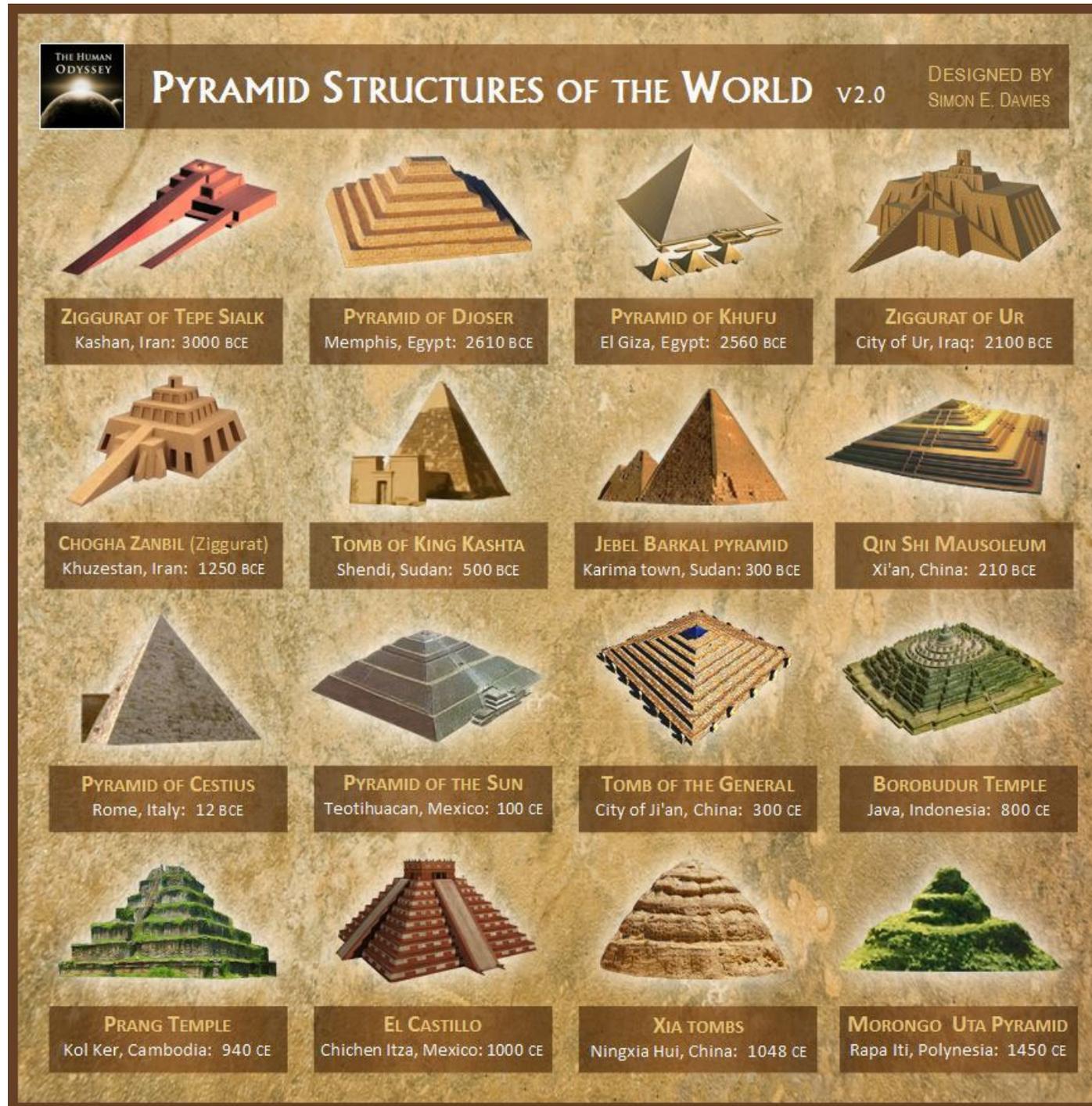


世界中の様々なピラミッド型建造物

画像は「EWAO」より引用



時代も場所も異なる代表的なピラミッド型建造物



ジグラート (テペ・シアルク:イラン) BC 3000



クフのピラミッド(ギザ:エジプト) BC 2500



太陽のピラミッド(テオティワカン:メキシコ)
AD 100



エル・カスティージョ(チチェンイツ・ツァー:
メキシコ) AD 1000

chatGPTの回答 (2023/3/9 検索)

「ピラミッドパワー」について教えてください。

ピラミッドパワーとは、ピラミッドの形状を持つ物体から発生すると言われるエネルギーのことを指します。ピラミッドは、古代エジプトなどで信仰されてきた神聖な建築物であり、その形状から独自のエネルギーを持つとされてきました。

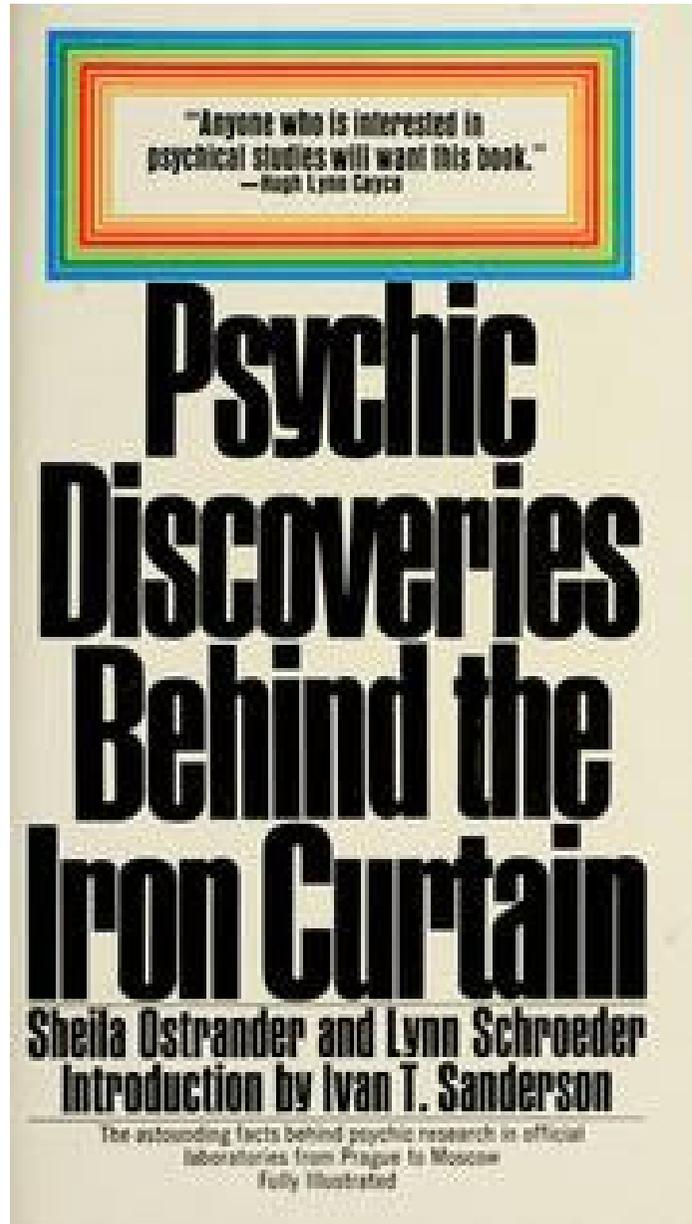
一部の人々は、ピラミッドの形状を模した物体を使用することで、様々な効果をもたらすと信じています。例えば、ピラミッドの形状をした物体を枕元に置くことで、より深い眠りを誘うことができるという主張があります。また、ピラミッドの形状をした物体を水や食べ物の近くに置くことで、保存期間を延ばすことができるという主張もあります。

しかし、科学的にはピラミッドパワーの存在は証明されていません。これまでの研究でも、ピラミッドの形状をした物体から発生するエネルギーについては、信憑性のある結果が得られていません。

したがって、ピラミッドパワーに関する主張は科学的な根拠に欠けるものとなっています。ただし、一部の人々にとっては、ピラミッドの形状が持つ神秘的なエネルギーについての信念が、精神的な安定や心の癒しをもたらすことがあるかもしれません。

“Pyramid Power”

という言葉が初めて使用された書籍



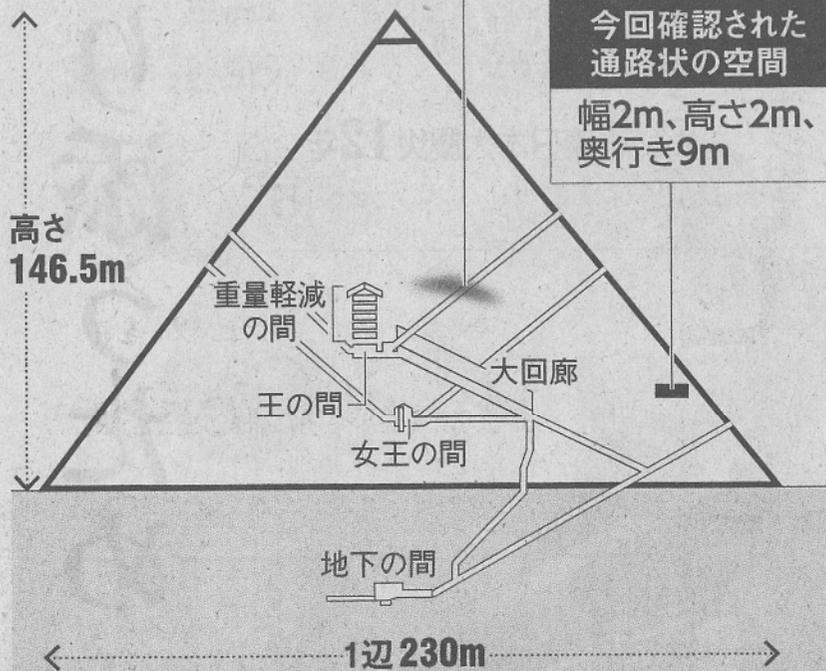
Psychic Discoveries Behind the Iron Curtain

1970 by Sheila Ostrander
and Lynn Schroeder

Publisher Englewood Cliffs,
N.J., Prentice-Hall

第3種郵便物認可

クフ王のピラミッドで見つかった空間



2017年に「透視」で見つかった巨大空間
長さ30m以上?

今回確認された通路状の空間
幅2m、高さ2m、奥行き9m

「新たな発見にも つながる可能性」

名大などの国際チーム

エジプト・カイロ近郊ギザにある世界最大のクフ王のピラミッド内部に通路状の空間があることを、名古屋大などが参加する国際チームが確認した。数々の精度で詳細に計測した。8日に会見した名古屋大学院理学研究科の森島邦博准教授(43)は「今回の発見でさらに新しい発見の可能性も増えていく」と語った。

チームは、物質を透過する力が強い宇宙線「ミュー粒子」をとらえることで建物に「透視」する技術を活用し、2016年にこの空

クフ王ピラミッドに未知の空間

間を発見したと発表。今年1月、ファイバースコープを用いて空間内を撮影するなどし、詳しい形状がわかったという。空間はピラミッド建造当時の入り口付近から80m内部にあり、幅2m、高さ2m、奥行き9m。上部の石の重さを分散させるために設けられた可能性があるという。

名古屋大などのチームは17年、宇宙線を用いた同じ手法でピラミッド中心部に別の巨大空間を見つけている。今回確認した通路状の空間が巨大空間につながっている可能性について、森島准教授は「ないとは言いきれない。今後の課題です」と話した。(上山浩也)

メニューへもどる